リャンシャンポ チュウインタイ

楽山伝説の英音を設施して 深文には、英音を思えていて 深文には、英音を思えていて 深れて説の真実を追う浙江・江蘇の旅

杭州・上虞・紹興・宜興の四都市を訪ねて

協力:渡辺明次先生(梁祝文化研究所所長)

後援:日中交流研究所(段躍中所長)

旅行期間

2008年5月21日(水)~5月27日(火) 6泊7日間

訪問都市

杭州・上虞・寧波・紹興・宜興







写真(上):中国の切手に画かれた梁山伯と祝英台

写真左下∶梁祝公園【寧波】 写真右下∶善権寺【宜興】

旅行企画·実施: /// *禁某二十一世紀旅行*

国土交通大臣登録旅行業第709号JATA正会員 総合旅行業務取扱管理者: 岡部 秀助 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-4 日中友好会館3F

TEL:03-5281-2460 FAX:03-5281-2465 担当:小林 英明

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取り引きの責任者です。この旅行の約款に関し、担当者からの説明にご不明な点がございましたら、ご遠慮なく上記旅行業務取扱管理者にご質問ください。

日程表

No.	月日(曜)	都市	時間	交通	内容	食	宿泊
1	05月21日 (水)	成田 杭州	09:30 12:15	国際線 JL635	午前:空路杭州へ 午後:到着後、専用バスで杭州市内へ 梁祝の二人が学んだ学校という伝説の「万松 書院」を見学します。	一機夕	杭州 海華大酒店
2	05月22日 (木)	杭州 上虞 寧波	106km 106km	専用バス	朝:専用バスで祝英台の故里上虞へ 着後、祝英台研究会を表敬訪問(予定)、上虞 博物館、祝家庄(祝氏祖堂)、梁祝ゆかりの蝶 のレリーフのある歩行者天国を散策 午後:専用バスで寧波へ 着後、ホテルへ 夕食は日本料理と類似点が多いという寧波料 理(湯圓など)をご賞味下さい。	朝昼夕	寧波 南苑飯店
3	05月23日 (金)	寧波		専用バス	終日:接待寺=梁山伯廟、梁祝文化公園―聖梁山伯廟、義忠王(梁山伯)廟記、祝英台が跳び込み二つに割れ、梁祝が蝶に化身した伝説の墓、資料展示館。 梁祝文化研究会を表敬訪問(予定) 夕食後、本場の越劇を鑑賞(予定)。※OP	朝昼夕	寧波 南苑飯店
4	05月24日 (土)	寧波紹興	73km	専用バス	午前:道元ゆかりの天童寺、鑑真ゆかりの阿育 王寺の見学 昼:専用バスで紹興へ 着後、紹興で王羲之の蘭亭、魯迅記念館など 見学	朝昼夕	紹興 咸亨大酒店
5	05月25日 (日)	紹興宜興	246km	専用バス	午前:専用バスで寧波とは異なる梁祝伝説の地、宜興へ着後、祝英台学問所(英台閣)、祝英台墳墓、碧鮮庵・琴剣塚、陶磁博物館、張公洞「華夏梁祝文化研究会」との交流(予定)	朝昼夕	宜興 国際飯店
6	05月26日 (月)	宜興杭州	147km	専用バス	午前:専用バスで杭州へ 午後:杭州着後、夕食までフリータイム 西湖遊覧などお楽しみ下さい。 夕食は老舗レストラン「楼外楼」で杭州料理を ご賞味いただきます。	朝昼夕	杭州 海華大酒店
7	05月27日 (火)	杭州 成田	13:15 17:05	国際線 JL636	出発までフリータイム(ホテル10時頃出発) 午後:空路帰国の途へ	朝機一	

※上記日程はあくまでも予定であり、現地事情・交通機関などの事情により、多少変更になる場合があります。予めご了承下さい。 ※利用予定航空会社: JL(日本航空)又はNH(全日空) ※利用予定ホテル: 上記記載ホテル又は同等クラス ※OP料金 お一人様3,000円(寧波の越劇は不定期的公演のため、上演されない場合は杭州で鑑賞いたします。)

旅の講座 ご案内

2008年4月25日(金)、当旅行にご同行いただきます渡辺明次先生の「旅の講座」が開催されます。 現地の魅力と梁祝伝説について解説をします。 ぜひご参加ください。

日 時:2008年4月25日(金) 午後6時~8時

テーマ:梁山伯と祝英台伝説の真実性を追う

場 所:神田・学士会館302号室 東京都千代田区神田錦町3-28

参加費:1,000円 当日会場で申し受けます(※21・旅友の会会員は無料)

中国版ロミオとジュリエット 梁 祝 伝 説 の 謎 を 追う

渡辺 明次

中国に伝わる伝説梁山伯と祝英台の愛情物語をご存知だろうか。豪傑が集まる水滸伝の梁山泊と間違えやすいが、中国版ロミオとジュリエットともいわれる物語である。中国各地にこの伝説の二人の墳墓、学問所と伝えられるものがいくつも点在する。ならば梁山伯と祝英台は本当にいたのか?

定年後、中国留学した私は梁山伯と祝英台の伝説(梁祝文化)を確かめようと各地を調べた。中国の研究者によれば、二人のゆかりの墳墓、学問所、廟すべてを巡ったのは私が初めてらしい。

梁祝伝説に接したのは留学後だ。物語を紹介してみよう。祝英台は教育を受けるためやむなく男装して杭州の学校に入り、梁山伯と義兄弟になる。政略結婚のため故郷に戻された祝英台を訪ねた梁山伯は、義兄弟が女性と知り、彼女と結婚できない辛さから病死。祝英台の結婚の行列が梁山伯の墓前まで来ると、雷鳴とともに墓が割れ、彼女はその中に飛び込む。嵐がやむと一対の蝶が舞っていた。日本ではあまり知られていないが、中国では有名な物語だ。

寧波の公園には1997年に発掘され、晋代のものとされる梁山伯の墳墓がある。さらに1107年、寧波の李茂誠・府知事が石碑「義忠王廟記」に「梁山伯は352年に生まれ、373年に死去。祝英台の嫁入りは374年」と刻んだ。研究者は八割の確率で梁祝伝説は寧波で生まれたと見る。私も地理関係から梁山伯は寧波、祝英台は上虞の出身と推測している。

募集要項 ※「21・旅友の会」の会員特典があります。

■企画·同行:渡辺 明次 先生(梁祝文化研究所所長)

プロフィール

1941年新潟県生れ。中央大学文学部卒。高校教諭となり2002年定年退職後、北京外国語大学留学。留学中の論文「梁山伯祝英台伝説の真実性を追う」が優秀論文賞を受賞。 著書=『梁山伯祝英台伝説の真実性を追う』(日本僑報社) 訳書=『梁祝口承伝説集』 『小説 梁山伯と祝英台』(日本僑報社)

■後 援:日中交流研究所(段躍中所長)

■旅行期間: 2008年5月21日(水)~5月27日(火) 6泊7日間

■訪問都市: 杭州·上虞·寧波·紹興·宜興

■旅行代金: 176,000円

※旅行代金に含まれるもの

国際航空運賃、中国内交通費、宿泊料金(2人部屋利用)、食事料金、観光・ガイド料金、添乗同行費用、手荷物運搬料金(1人20kgまで)など

※旅行代金に含まれないもの

個人的諸経費、超過手荷物運搬料金、1人部屋差額料金(38,000円)、飲料代、 空港使用料(成田2,040円、中国国際90元)、燃油サーチャージ、中国渡航書類 作成料(2,100円)任意の保険料、成田空港までの交通費など

■募集人員: 20名(最少催行人員15名)

■申込締切:2008年4月11日(金)

■申込方法:「参加申込書」に必要事項をご記入の上、当社宛お送りください。

併せて、申込金3万円をお振込みいただくことにより正式申込みといたします。

【振込先】 三菱東京UFJ銀行 神保町支店 (普)1676441 □座名:㈱二十一世紀旅行